

## 「4千人のパンの奇跡」

§079 マコ8:1~9

### 1. はじめに

#### (1) 文脈の確認

- ①イエスは、異邦人の地を巡っておられる。
- ②カナン人の女は、娘を癒してもらった。
- ③耳が聞こえず、口のきけない人が癒された。
- ④4千人のパンの奇跡が起こる。

#### (2) パンの奇跡は2度あったか。

- ①マルコとマタイは、5千人のパンの奇跡と4千人のパンの奇跡に言及している。
- ②イエス自身が、2度のパンの奇跡に言及しておられる。
- ③マコ8:19~20

『わたしが五千人に五つのパンを裂いて上げたとき、パン切れを取り集めて、幾つのかごがいっぱいになりましたか。』彼らは答えた。『十二です。』『四千人に七つのパンを裂いて上げたときは、パン切れを取り集めて幾つのかごがいっぱいになりましたか。』彼らは答えた。『七つです。』

#### ④マタ16:9~10

「まだわからないのですか、覚えていないのですか。五つのパンを五千人に分けてあげて、なお幾かご集めましたか。また、七つのパンを四千人に分けてあげて、なお幾かご集めましたか」

#### ⑤聖書に向かう姿勢

\*聖書は正しいのだから、必ず答えが見つかるはずだと思え。

### 2. アウトライン

- (1) 必要の発生 (1~3 節)
- (2) 弟子訓練 (4~5 節)
- (3) パンの配給 (6~7 節)
- (4) 奇跡の結果 (8~9 節)

### 3. 結論:

- (1) 2つのパンの奇跡の比較
- (2) 不信仰からの解放
- (3) 嫉妬からの解放

この奇跡を通して、イエスから弟子訓練を受ける。

## I. 必要の発生 (1~3節)

### 1. 1節 a

「そのころ、また大ぜいの人の群れが集まっていたが、食べる物がなかったので、」

(1) 場所はデカポリス地方のあたり (マコ7:31)

① 群衆は、異邦人が中心である。

② なぜ多くの人々が集まったのか。

(2) ゲラサ人の地でレギオンを宿していた人の証し

「それでイエスが舟に乗ろうとされると、悪霊につかれていた人が、お供をしたいとイエスに願った。しかし、お許しにならないで、彼にこう言われた。『あなたの家、あなたの家族のところへ帰り、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを、知らせなさい。』そこで、彼は立ち去り、イエスが自分にどんなに大きなことをしてくださったかを、デカポリスの地方で言い広め始めた。人々はみな驚いた」(マコ5:18~20)

(3) 群衆は食べる物がなく、空腹になった。

### 2. 1節 b~3節

「イエスは弟子たちを呼んで言われた。『かわいそうに、この群衆はもう三日間もわたしといっしょにいて、食べる物を持っていないのです。空腹のまま家に帰らせたら、途中で動けなくなるでしょう。それに遠くから来ている人もいます』」

(1) イエスの憐みの心

① イエスが主導権を握って、弟子たちに呼びかけた。

② 「かわいそうに」は、「スプランクニゾマイ」である。

③ 「この群衆のために私のはらわたは痛んでいる」という意味である。

(2) イエスの感受性

① 群衆は、食べ物よりも神のことばを慕った。

\* いわば断食聖会のようなものである。

② 群衆は、三日間もイエスとともにいる。

③ 空腹のまま家に帰らせることはできない。

④ イエスは、遠くから来ている人もいることを知っておられた。

(3) マタ6:31~32

「そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと言って心配するのはやめなさい。こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます」

- ①神は私たちの必要をすべてご存じである。
- ②必要でないものもご存じである。

## II. 弟子訓練 (4~5 節)

### 1. 4 節

「弟子たちは答えた。『こんなへんぴな所で、どこからパンを手に入れて、この人たちに十分食べさせることができますよう』」

- (1) 弟子たちは、過去の経験から学んでいない。
  - ①イエスがどのようなお方であるかについて、まだ目が開かれていない。
- (2) 弟子たちは、自らの無力を告白している。
  - ①間接的に、イエスに解決を求めている。

### 2. 5 節

「すると、イエスは尋ねられた。『パンはどれぐらいありますか。』弟子たちは、『七つです』と答えた」

- (1) イエスは、パンがどれぐらいあるかを問われた。
  - ①この質問によって、イエスは自らの意図を明確にされた。
  - ②弟子たちに、今持っているものを差し出すように示唆された。
- (2) パンは7つあった。
  - ①それに、魚が少しばかりあった。
  - ②「小さい魚が少しあった」(新共同訳)

## III. パンの配給 (6~7 節)

### 1. 6~7 節

「すると、イエスは群衆に、地面にすわるようにおっしゃった。それから、七つのパンを

取り、感謝をささげてからそれを裂き、人々に配るように弟子たちに与えられたので、弟子たちは群衆に配った。また、魚が少しばかりあったので、そのために感謝をささげてから、これも配るように言われた」

(1) 5千人のパンの奇跡とよく似ている。

①「弟子たちに与えた」という動詞だけが、継続した動作を表している。

②3つのステップ

\*弟子たちは、持っているパンと魚を差し出した。

\*イエスはそれを増やし、弟子たちに与えた。

\*弟子たちは、それを群衆に配った。

(2) 「感謝をささげて」

①すべての良きものは、神から来ることを認める行為である。

#### IV. 奇跡の結果 (8~9節)

##### 1. 8~9節

「人々は食べて満腹した。そして余りのパン切れを七つのかごに取り集めた。人々はおおよそ四千人であった。それからイエスは、彼らを解散させられた」

(1) 有り余るパンが与えられた。

①人々は食べて満腹した。

②余りのパン切れは7つのかごに一杯になった。

(2) 食べた人々の数はおおよそ4千人であった。

#### 結論：

##### 1. 2つのパンの奇跡の比較

(1) ユダヤ人 vs 異邦人

①異邦人が、イスラエルの神のもとに来ている。

②ユダヤ人はイエスを拒否したが、異邦人はイエスに引き寄せられた。

(2) 1日 vs 3日

①マコ6:35

②マコ8:2

(3) 5つのパンと2匹の魚 vs 7つのパンと少しの小魚

①マタ 14:17

②マコ 8:5、7

(4) 5千人の男+婦人と子ども vs 4千人の男+婦人と子ども

①マタ 14:21

②マタ 15:38

(5) 12のかごにいっぱい之余り物 vs 7つのかごにいっぱいの残り物

①マタ 14:20 (コピノスという名詞。複数形はコピノイ)

②マコ 8:8 (スプリスという名詞。穀物を貯蔵するかご)

\*パウロはダマスコの城壁からかごに乗ってつり降ろされた (使9:25)。

## 2. 不信仰からの解放

(1) 弟子たちは、学ぶのがのろい。

①イエスがいかなる状況にあっても奇跡を行えることを信じなかった。

②5千人のパンの奇跡の記憶が、信仰を働かせる助けになっていない。

(2) 詩 103:2~5

「わがたましいよ。【主】をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。主は、あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやし、あなたのいのちを穴から贖い、あなたに、恵みとあわれみとの冠をかぶらせ、あなたの一生を良いもので満たされる。あなたの若さは、鷲のように、新しくなる」

①ビジネスマン：ヴィクトリーリスト

②クリスチャン：グレイスリスト

## 3. 嫉妬からの解放

(1) 塾生の感想

「中川先生のヘブル的視点による聖書解釈のメッセージを聴いて最初に霊の目を開かれたのは妻だった。それから我が家の神学論争が始まった。アーノルドのルームメイトのビルと同様の反応を私は示した。二千年に及ぶキリスト教神学の歴史の積み重ねはどうなる？それに基づいて学んできた僕の信仰は間違った信仰なのか？でも、実は神学や信仰のことはどうでもよくて、ユダヤ人のおこぼれが異邦人の僕にまわってきた、ということが受け入れられず、ユダヤ人がねたましく思えたのだ。そのゆがんだ気持ちを自分が受け入れたときから、私のヘブル的視点による聖書解釈の学びが始ま

った。聖書入門のコースを通じて、断片的だったヘブル的視点による聖書解釈がとても整理されてきたと思う」

(2) カナン人の女は、パンくずを願った。

「主よ。そのとおりです。でも、食卓の下の小犬でも、子どもたちのパンくずをいただきます」(マコ7:28)

(3) 4千人が食べて満足し、パンの残りは7つのかごに一杯になった。

①5千人のパンの奇跡の時の12のかごよりも多くのパンが残った。

(4) ユダヤ人がイエスを拒否した今、恵みは異邦人に向かいつつある。

①イエスはご自身を諸国民に与えようとしておられる。

②イエスは命のパンである。